

<第3回理事会報告>

憲法9条の願いは核兵器廃絶と戦争のない世界

=地域・職場で春の風をおこそう=

1月30日、水戸市で県平和委員会の第3回理事会が34名の参加で開催されました。今回の中心議題は、①秋の取り組みのまとめと、②県大会までの春の取り組みの具体化、③さらに県大会の日時の検討でした。会議の前半は平和をめぐる情勢の学習をしました。

A. 平和情勢についての学習

(問題提起の枠をでませんでしたが以下のとおりです)

1. 1989年冷戦以後のアメリカの単独世界支配は国際社会の平和と経済(生活)に何をもたらしたか。
2. 世界各国はどのようにしてアメリカ離れしようとしているか。
3. ヨーロッパでは、東アジアでは、そして中南米では、いまだのような形で地域共同体が広がっているのか、それはどのような方向にすすんでいるか。
4. 世界の変化と流れのなかで、二国間同盟の日米安保条約がどれほどの意味を持ちえるのか。
このことを抜きにして、安保条約の矛盾の集中点である沖縄を如何に考察していくか。
5. 最後に本土の戦後史は、非軍事化・財閥解体・民主化そして新憲法に収斂していった。しかし、沖縄の戦後史はまったく逆コースの永久軍事基地化・植民地化の道をたどった事を検証しなければならない。
6. 以上のようなことを話し合いながら、沖縄基地問題・日米安保同盟・自衛隊・憲法を学んでいくことで地域・職場での活動が生き生きしていくことを確認しあった。

B. 秋の取り組みのまとめ

1. 県内いっせいで伝カ一行動

県内全域では行えなかった。また、各平和委員会の取り組みに「温度差」があった。声の宣伝と合わせてチラシの作成が遅れてあまり活用できなかった。来年はポスターや10万枚規模のチラシ配布も検討することも必要。

2. 新聞意見広告(12月8日掲載)とワイン販売は各平和委

員会の奮闘で当初の目標を実現できました。広告と賛同者一覧表を配布しましたのでご参照してください。

3. この間の各平和委員会の主な取り組み。 ①10月3日の石岡での澤地久枝講演会は、全県的によびかけ成功したことで今後の地域活動に大きな励ましをもらった。②美和・緒川平和の会では米軍横田基地ツアーを、また太田平和の会では靖国神社ツアーをそれぞれマイクロバスをいっぱいにして取り組んだのは県の取り組みと相乗的に効果をあげた。③鹿行5市、ひたちなか、結城でのチラシをセットにして袋に入れ配布する成人式の取り組みは好評を得て署名もしてくれるようになってきている。

4. 「核兵器なくせ」の署名は会員1人・20筆を目標で12月末に第1次集約として取り組んだが全体的には弱く、4月のNPT再検討会議までに取り組みを強める必要がある。①土浦と取手の地域では「推進実行委員会」が作られ各団体が協力して運動に弾みをつづけている。②常陸太田・龍ヶ崎では市長が、かすみがうら市では教育長が署名してくれ運動を進めていく上で大きな力となっている。③署名が遅れている現状を変えるために県平和委員会としても新たな検討を行う必要がある。

5. 名護市長選挙カンパは最終的に16万8300円となり稲嶺ススム勝利に貢献できました。別記参照。

C. 春の取り組み

1. 2010年度県大会について

日時は6月19日(土) 午前10時~午後4時に決まりました。また、3月13日、午後2時から常任理事会を開き、県大会の諸準備に入ります。

2. 今年の5・3憲法フェスティバルについて

「実行委員会」では憲法を守り活かそう・憲法フェスティバルの今年の訴えのテーマは「9条の願いは核廃絶と戦争のない世界」となりました。メインゲストに誰を呼ぶか、午前・午後の部の詳しいプログラムは2月28日の第3回実行委員会までに事務局団体に決めることになりました。平和委員会の主な分担は戦争体験(今年は被爆者のお話かどうかと検討しています)が中心となりそうです。

3. 各平和委員会での旺盛な学習会を!

去年はオバマ大統領の出現や自公政権に代わって鳩山内閣誕生など世界・日本の政治地図が大きく変わり平和情勢もめまぐるしく変化しており、私たちの活動も理論政策学習が強く要求されてきています。この時期、各平和委員会で規模にとられないで学習のつどいをおこないます。講師などの準備などは事務局が担当します。

4. 仲間づくりは月5名を目標に実現してきていますが、県大会に向けて各平和委員会でひとりでも多くの仲間を増やすことを申し合わせしました。組織強化委員会で具体化を検討していきます。

5. 平和かわら版の更なる内容充実のために、各平和委員会や多くの会員の投稿・ご意見をもらえるよう努力していく。

百里平和公園はお待ちしております。

2月11日の百里初午まつりの準備のために24日、平和公園の草刈を15名(うち平和委員会は10名)で行いました。百里のお稲荷さんもお待ちしておりますのでお問い合わせお出てください。



平和かわら版

平和新聞茨城版

No. 554

2010.2/5

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp



普天間基地の名護市移転と日米共同軍事訓練は一体のたたかい



1月23日、百里基地で日米共同軍事訓練実施の知らせを受け急遽、米軍機くるな茨城実行委員会では抗議行動を29日午前11時から共産党のみなさんと一緒に行いました。緊急行動にもかかわらず50数名が参加して正門前で実行委員会と共産党が別々に申し入れ書を読み上げ抗議しました。平和委員会では、北は太田、南は守谷、東は鹿行の皆さんたちを含めて20数名参加してくれました。

日米共同軍事訓練は06年5月1日に日米両政府が合意した、米軍再編の最終合意「再編実施のための日米ロードマップ」によって行われています。この文書はいま、大きな問題になっている沖縄の普天間基地を名護市の辺野古に移すことも書かれています。沖縄と連帯し米軍基地撤去のたたかいを前進させていきましょう。

2010年1月29日

防衛大臣 北沢 俊美 殿

米軍機くるな、茨城実行委員会
事務局長 伊達 郷右衛門

日米共同軍事訓練反対に関する申し入れ書

1月29日から2月5日の8日間、米軍嘉手納基地所属第18航空団のF15戦闘機と百里基地所属第7航空団の戦闘機が百里基地において、合同軍事訓練が行われるとマスコミは報道した。

われわれは、日米合同軍事訓練が実施されるたびに反対を申し入れてきた。しかし、一顧だにしない日本政府の対応に怒りを禁じ得ない。

在日米軍は朝鮮戦争、ベトナム戦争、イラク戦争などに直接関わり、また、在日米軍基地はその兵站基地として使われ戦争協力させられてきた。相手国から日本が報復攻撃・テロ攻撃されても国際法上、日本は抗議すら出来ない。そのアメリカ空軍と航空自衛隊が軍事訓練する事は日本国憲法のもとで許されるものではない。

昨年、自民党・公明党政権に代わって民主党を中心とする鳩山内閣が国民の期待を背負って誕生した。しかし、日本の平和と安全に関してはアメリカ追随の「抑止力」依存の政策が旧態依然として行われている。今回おこなわれる日米共同軍事訓練もそのひとつである。国民は、今こそ、きっぱりと日本から米軍基地をなくす平和的転換を望んでいる。

改めて、日米共同軍事訓練に抗議し、以下の項目について申し入れる。

記

1. 「防衛」と言う名のもとで、実際はアメリカの戦争協力のための日米共同軍事訓練は「戦争する国」への自衛隊強化である。日本国憲法と相いれないものであり、中止を求めるものである。
2. 今回の「共同軍事訓練」を具体的に取り決めた、日米安全保障協議委員会の「再編実施のための日米ロードマップ」(2006年5月)の見直し・廃止をアメリカ当局に申し入れること。
3. 騒音・事故の危険・生活不安など地元県民への不安を万全の策をもって解消すること。

以上

沖縄名護市長に稲嶺ススムさん当選 最終カンパ16万8300円送金しました。

1月24日投票の名護市長選は基地誘致反対の稲嶺さんが誘致賛成の島袋吉和氏を破り当選しました。県平和委員会は名護市に応援に行けないのでカンパで応援しました。各平和委員会のご努力、ありがとうございました。

戦後60数年居座りつづけているアメリカ軍には道理というものがない。沖縄の県民主権、日本の国家主権にかけて米軍を撤退させるたたかいはこれからも多難です。しかし、世界の変化、平和勢力の流れは私たちのものになりつつあります。今回の稲嶺当選をはずみにして頑張っていきましょう

選挙結果

稲嶺ススム : 17950票
島袋吉和 : 16362票

県平和委員会第4回常任理事会のお知らせ

とき : 3月13日(土) 午後2時~5時

ところ : 県立青少年会館

- 議題 : ① 10年度県大会の諸準備について
② 憲法フェスティバルの取り組み
③ 仲間づくりの活性化について
④ 学習運動の推進について

ご多忙とは思いますがご出席くださるようお願いいたします。欠席の場合はご意見など事務局までお寄せください。

事務局便り

4月末からニュー
ヨークで開催され
る、NTP再検討会
議への参加で茨城も
沸いている。しか
し、30~40万円の費
用はいまの若者には
手が届かない。茨城
の若者は焼津市で開
かれる3・1ピキニ
デーに20人の参加目
標で頑張ると張り
切っている。ささや
かであるが小生も応
援してやりたいと思
う。(伊達)